

吹田市勤労者福祉共済運営委員会（会議概要）

- 1 日 時 令和 5 年 11 月 16 日（木） 午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 1 時 0 0 分
- 2 場 所 吹田市立勤労者会館 大研修室 1
- 3 出席者 山口委員・嵯峨委員・井上委員・岩井委員
土橋委員・水守委員・森田委員・矢野委員
- 欠席者 植田委員・岸原委員・酒井委員・福原委員
- 事務局 井田部長・橋本次長・谷口参事・西村主幹・幅岸主任
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0 名
- 6 議題 （1）吹田市勤労者福祉共済令和 6 年度予算案
 （2）50 周年事業について

開会の挨拶。

会長より挨拶。以降、会長が進行。

委員の半数以上の出席があるため委員会は成立。傍聴申請はなし。

資料の確認。

吹田市勤労者福祉共済 会議次第

資料 1 吹田市勤労者福祉共済令和 6 年度予算案

資料 2 吹田市勤労者福祉共済 50 周年事業について

資料 1 吹田市勤労者福祉共済令和 6 年度予算案について説明。

委員：永年勤続慰労金について、従業員のための慰労金は中小企業としては助かるが、支給金額の増額等は検討できないのか。

>永年勤続慰労金については条例で定められており、すぐの御対応は難しいが、いただいた御意見を参考に検討していきたい。

委員：生活習慣予防健診補助について、従業員の高齢化もあり自社内でも健診を受ける人が増えている、反対に人間ドックの申請は少ないかと思う。それぞれの支給額の増減についても実情に応じて、検討してほしい。

>他市状況等も調査し、事務局内で検討する。

委員：令和 5 年度以降、事務事業の印刷製本費が過去と比較し、上昇しているようにみえるが、経緯はどういったことからか。

>令和 5・6 年度は予算額を記載しており、令和 2～4 年度は決算額を記載している。過去からの予算額に大きな変更はなく、例年通りにいけば、令和 5・6 年度についても同程度の決算額となる見込み。

委員：昨今の物価高騰により、福利事業で利用できる施設にも影響があるかと思うが、今後のサービスの影響はあるのか。

>一部の施設からは、利用できる曜日の制限や入園料の値上げの情報もいただいているが、現時点では本福祉共済の補助率等のサービスの質は維持できるよう努めていると考えている。

委員：体験型で平野農園での芋ほり体験会などの提案は

>近場で楽しめる体験型のイベントについては事務局内で検討する。

資料2 吹田市勤労者福祉共済 50周年事業について説明。

委員：クオカード配布について、配布するにあたって必要な費用はどれくらいか

＞1000円のクオカード発行するのに手数料40円が必要となる。1,040円×2,949名（令和5年度8月末時点の被共済者数）＝3,066,960円と郵送料が必要となる。

郵送に関しては各事業者様に一括して簡易書留等で発送予定となる。

委員：ユニバーサルスタジオジャパンでの周年事業について、参加者は抽選で決定する予定なのか。

＞200人の定員を上回った場合は抽選によって決定することを想定している。

委員：ユニバーサルスタジオジャパンでのイベント実施は初めての提案なのか。

＞初めての提案となる。クオカードは過去の周年事業で実施したことがある。

委員：なぜ200人の定員なのか。

＞会場は最大400人の収容が可能ではあるが、本福祉共済の積立金額や予算等から総合的に判断して200人に設定した。

委員：イベントは令和6年10月～令和7年2月までの間で、どこか1日を福祉共済のメンバーで貸切するという認識で間違いないか。時期はどのように決めるのか。

＞お見込みの通り、会場内は福祉共済の関係者で貸切することになる。USJの空き状況等にもよるが、被共済者の皆様が参加しやすい時期を検討し、日程を検討していきたい。

委員：申し込みが少なかった場合はどうなるのか。

＞最少催行人数が100名となっている。広報に努め、最低限この人数はクリアしたいと考えている。

委員：この事業案になったプロセスについて。参加できる人とできない人の不公平感が発生するのではないか。事務局内での本イベントを提案するに至ったプロセスは。

＞当初は参加者の負担をもう少し大きくすることも検討していたが、50周年という大きな節目であること、共済は会員同士で支えあうという観点もあること、福利事業の他のイベントでも参加したい人もいれば、そうでない人もいること、イベントの規模感や集客面等を総合的に判断した結果、本イベントの提案に至った。予算の範囲内とはなるが、本イベントの実施を平日と休日での実施の可能性等を再度調査し、可能な限り不公平感が発生しないよう検討していきたい。

委員：予算案をみているとUSJでのイベントをやめるとクオカードを2,000円に増額することができる。また、全被共済者数約3,000名に対して、周年事業のイベントの定員が200名では1割未満となっているが、周年事業の予算をクオカードの増額や各種給付金の給付額の増額等を検討することはできないのか。飲食業を営んでいるので、イベント関係は参加しにくい。

＞給付金額等については条例で決まっているため、即座に変更ということは難しい。福利事業については、予算の範囲内で新たなメニューの検討等が可能なので、できる限

り多くの皆様が参加できるような、幅広い福利事業のメニューを検討していきたい。
なお、希望の福利事業等があれば、メール等で事務局まで連絡をいただければ、検討していく。

以上